

事業所名

ルアナ

支援プログラム

作成日

令和7 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		「人との関わりの中で成長できる場所」 「人とのつながりを大切に」							
支援方針		人との関わりの中や集団活動の中で、お子様の「できた！」という成功体験を積み重ねていき、自己肯定感を高めて自信につなげていきます。日常生活に必要なスキルや集団生活の適応力を身につけていき、人とのつながりを大切に自立に向けた支援をしていきます。お子様ひとりひとりの個性や可能性を引き出し、伸ばしていけるよう、共に育ち、共に学び成長していける場所でありたいと考えます。							
営業時間		平日	14 時	00 分から	17 時	10 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ★基本的な生活習慣面のスキルを身に着けることへの支援。 (身辺処理で自分の荷物の把握が出来る管理能力、衣食住の自立へ向けた食事やおやつを通した支援、排泄の自立へ向けた支援、衣類の着脱の自立へ向けた支援) ★普段の生活動作ができるようにどの部分を動かすのか、運動感覚、バランス感覚、体幹を鍛えられることへ繋げていく。 <基本的に毎日の通所時、個別に個々の状況に合わせて支援を実施> 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ★運動：自分の意思で動かせる体づくり（外での公園等での運動、遊具を使った運動、室内レクリエーション） ★手指運動操作：体を支える役割（姿勢保持、工作活動）、手指操作（指先を使った作業） ★感覚遊び：身体感覚を高める（前庭感覚：揺れやバランス、固有感覚：体の何処に力を入れているのか感じ取る、触覚、温冷感覚） <運動感覚の主活動の中で実施> 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ★認知の特性に合わせた対応 (対象や外部環境の認知と適切な行動への支援。感覚の幅を広げる→識別・認知へ) ★認知の概念形成（物の機能や属性、大小・形・色弁別・数・重さ・反対類推等） <個別指導や教材使用やグループ活動のプログラムで実施。> 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ★言語理解へ向けた声掛け（短くわかりやすい言葉での支援：行動と言葉、活動とことばを繋げる） ★意思決定支援（安心して表現できる環境→表現を増やす：活性化、要求表示への支援、意思表明、選好の経験を積む） ★遊びを通じてコミュニケーション構築（児童同士、周りの職員や大人との関わりを通してのコミュニケーション能力の向上） ★挨拶、コミュニケーションのルールやマナー（距離感、他者との適切な関わり方） <基本的に毎日の通所時実施。> 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ★発達に合わせて一対一の関係のアタッチメント形成から、共同注視へ、三項関係を築く、他児と一緒に遊ぶ平行遊び（物、遊具）→連合遊び→協同遊びへの発展へ導く ★集団参加への支援（ルールを守る、順番、聞く、待つ）、場面に合わせた行動を練習する。対人面でのソーシャルスキルの形成へ向けた支援（やりとりや関わり方） ★集団遊びや、日々の朝の会・帰りの会の集会の参加 <基本的に毎日の通所時実施> 							
家族支援		児童の特性や関係性、関わり方の面談（半年に一度実施。発達の課題の共有） 日々の連絡帳にて相談、ラインや電話での相談支援実施。				移行支援		移行に向けて移行先の状況把握。（支援内容の共有で柔軟に移行できるように支援）	
地域支援・地域連携		隣接の放課後等デイサービスとの連携・交流。 同一法人の施設とも交流を図る。 地域のイベントや行事等の交流や、地域ボランティア活動との交流。				職員の質の向上		全職員に定期的に研修、外部研修、勉強会、虐待防止委員会、その他会議等を実施して障害特性の理解や専門性を高め、対人援助技術を学びあうように努めている。	
主な行事等		入学・進級祝い、外出活動（買い物体験、外食体験、映画体験、カラオケ体験、ハイキング活動など）食育活動（農業体験）、ハロウィン、運動会、クリスマス会、忘年会 防災訓練（基本的に3.9月実施。時期のずれあり。） 保護者面談（年に1～2回実施）							